

科目名	初年次教育A, B, C, D	形態	演習	開講期	春学期
担当教員	アルバレス・ホセ・サンティアゴ、柴田 篤 志、猪狩 裕史、吉川 範行	単位	1	年次	1

＝授業科目の目標＝

大学生として学習・研究するために必要なスキルを身に着けることを本演習の目的とする。

＝履修の条件と学習の方法＝

本演習は、四人の教員の輪講形式で行なう。各教員が3回連続で講義を行ないその都度評価する。一回の欠席が大きく響くので、各時に集中し、復習も怠らないこと。

＝授業内容＝

授業は、四クラスに分かれ、以下の内容で行なう。

- I : ガイダンス及び本学の歴史・建学の精神
- II : 大学での学習の基礎 I ノートのとり方、図書館の使い方 (担当：吉川)
- III : 大学での学習の基礎 II 情報リテラシー (担当：柴田)
- IV : 大学での学習の基礎 III コミュニケーション・プレゼンテーション (担当：アルバレス)
- V : 大学での学習の基礎 IV レポート・論文の書き方 (担当：猪狩)
- VI : まとめ

IとVIは、全体で行ない、II～Vは各クラスが、それぞれII III IV V、III IV V II、IV V II III、V II III IVの順序で受講することとなる。

大学での学習の基礎 I

- ① 授業ノートの作成、図書館活用の準備、授業ノート提出
- ② 図書館での調査活動① 音響・映像を中心として、報告書提出
- ③ 図書館での調査活動② 文献を中心として、報告書提出

大学での学習の基礎 II

- ① PCによる文書作成 (柴田) MicrosoftのWordによる文書作成の基礎 (課題とその完成) 作成した文書は提出
- ② PCによるプレゼンテーション作成 (柴田) MicrosoftのPowerPointによるプレゼンテーション作成の基礎 (操作の基本と課題) 作成したファイルは提出
- ③ PCによる文書に基づくプレゼンテーション作成 (柴田) Wordの文書を基にPowerPointでプレゼンテーションを作成 作成したプレゼンを授業内で発表

大学での学習の基礎 III

- ① コミュニケーションとは? 小テスト
- ② 実際のコミュニケーションとその方法としてのプレゼンテーションの種類 小テスト
- ③ プレゼンテーションの実際 小テスト

大学での学習の基礎 IV

- ① 良い文章とは、感想文と論文の違い、APAスタイルの簡単なルール、テスト
- ② 参考文献について、間接引用について、テスト
- ③ 参考文献ページの整え方、テスト

=成績評価の方法と評価の基準=

各回の提出物及びテスト、演習での積極性等により、各担当者がそれぞれ 25 点満点で評価し、その合計によって最終的に評価をする。

=その他=

各担当者が必要に応じて指示する。